記者発表

令和3年12月21日

国土交通省　東北地方整備局　宮城南部復興事務所

第2回「阿武隈川水系内川流域 土砂・洪水氾濫対策技術検討会」を開催しました。【報告】

～ 遊砂地水理模型実験を踏まえ、より効果的な施設検討を進めます ～

◆ 開催日時：　令和3年12月9日（木）10:00 ～ 15:00
◆ 開催場所：　茨城県つくば市　（建設技術研究所　研究センターつくば）
◆ 委員名簿：　〔別添1〕 参照
◆ 主な議事：　遊砂地水理模型実験の視察、実験結果に対する意見交換　等
　　〔別添2〕 参照

【第2回検討会での主な意見】

① 今回の検討会では、阿武隈川水系内川流域の土砂・洪水氾濫対策計画の一つである遊砂地について、水理模型による実証実験の結果、遊砂地の規模・構造等の妥当性が概ね了承された。

② 通常時においては、ある程度の土砂を流下させないと、下流河道への土砂供給が不足し、河川環境の悪化が懸念されるので、引き続き、下流河道への土砂供給も考えるなど土砂のバランスを考えた施設構造を検討すること。

③ 雨量確率規模が比較的小さなものまで遊砂地で土砂を捕捉すると、維持管理の手間が増えることが懸念されるので、下流河川の計画規模1/30を超える規模での土砂の捕捉で最大限の効果を発揮できるよう、低水路等の構造を検討すること。

④ 内川遊砂地においては、実験により地形の効果が大きいことが確認されたため、遊砂地下流の堆砂空間も考慮した施設構造・空間整備の考え方も検討すること。

⑤ 五福谷川遊砂地の水理模型実験では、遊砂地内に流木を流した実験も行ったが、水衝部に流木が衝突する現象が確認されたので、流木により施設が破損しないような施設対策も検討すること。

⑥ 遊砂地完成後の維持管理計画についても検討すること。

上記、検討会での技術的助言を踏まえた、より効果的な遊砂地の施設検討を進めていきます。

【今後の予定】

○ 第　3　回：令和4年3月(予定)［開催地：丸森町（現地確認）］
　水理模型実験を踏まえた遊砂地構造の決定　及び　砂防施設配置計画の決定 等

○ 第4回以降：令和4年度以降（令和6年度まで各年度1回程度開催予定）
　土砂流出のモニタリング検証、事業進捗確認 等

【検討会の目的】

・阿武隈川水系内川流域では、令和元年東日本台風において、土石流、土砂・洪水氾濫により甚大な被害が発生したことから、特定緊急砂防事業により、河川計画と整合のとれた一定の砂防計画に基づく、短期的、集中的に砂防施設整備を令和2年度から実施しております。
・本検討会では、阿武隈川水系内川流域の土砂・洪水氾濫対策に係わる計画、設計、施工等について、専門的知見から技術的助言をいただくことを目的として設置するものです。

【その他】

○ 検討会の資料（概要版）は、以下 URL に掲載しております。
　http://www.thr.mlit.go.jp/nanbufukkou/work02/index.html　（ トップページ → 砂防関連事業 ）

発表記者会：白石記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　宮城南部復興事務所
宮城県伊具郡丸森町字除北20番地
電話：0224－51－8290（代表）

副所長（技術）　斎藤（さいとう）　巧（たくみ）　（内線204）

建設専門官　　松田（まつだ）　宏一（こういち）　（内線401）

〔別添１〕

土砂・洪水氾濫対策技術検討会　委員名簿

（氏　名）	（所 属 等）
井良沢　道也	岩手大学　教　授
内田　　太郎	筑波大学　准教授
小森　　大輔	東北大学　准教授
山越　　隆雄	国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部 砂防研究室長
菅野　　洋一	宮城県　土木部　技監
大宮　　敦	宮城県　大河原土木事務所長
髙橋　　秀	東北地方整備局　河川部　広域水管理官
水越　　崇	東北地方整備局　宮城南部復興事務所長

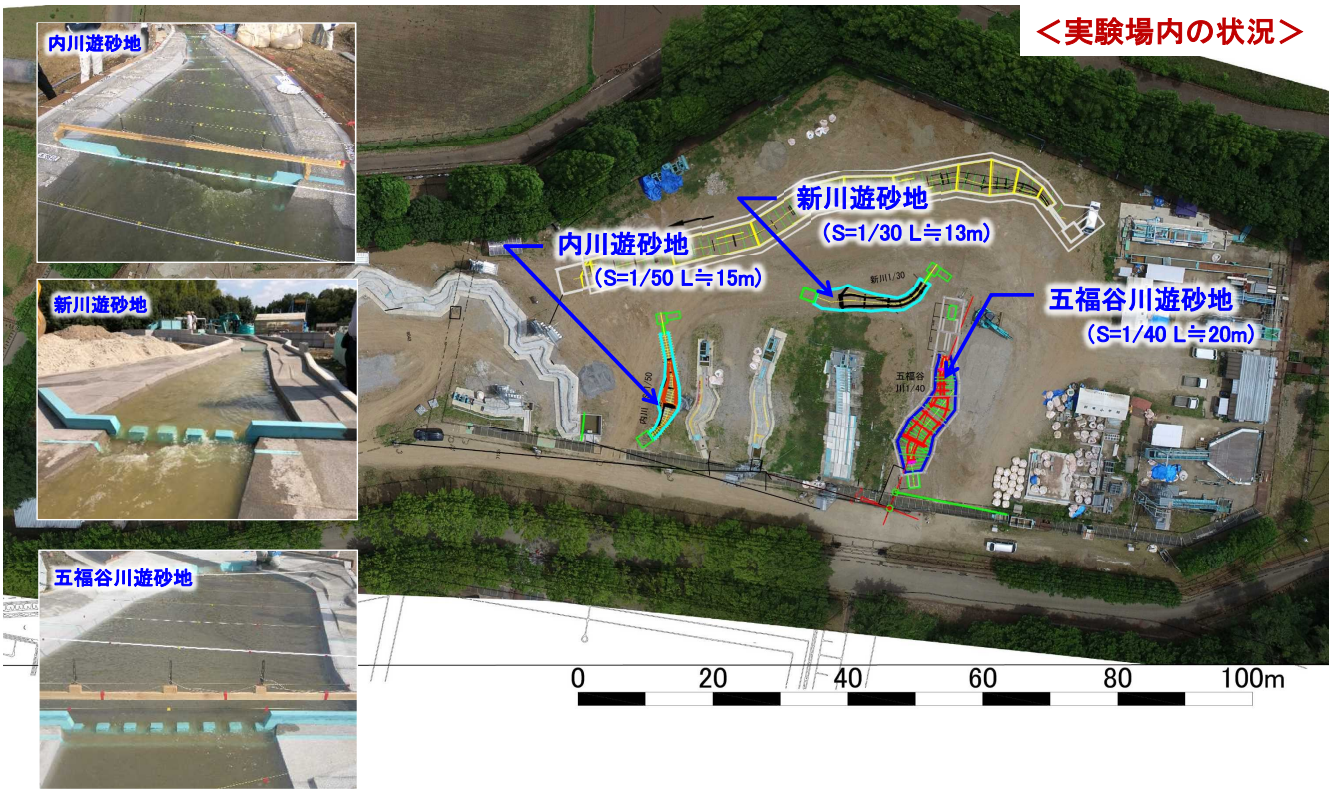
（順不同）

遊砂地水理模型実験の実施状況（模型状況）

〔別添2〕

東北地方整備局
宮城南部復興事務所

● 水理模型実験は茨城県つくば市の「(株)建設技術研究所（研究センターつくば）」で実施しています。



第2回「阿武隈川水系内川流域 土砂・洪水氾濫対策技術検討会」について

東北地方整備局
宮城南部復興事務所

■ 令和3年12月9日（木）に第2回「阿武隈川水系内川流域 土砂・洪水氾濫対策技術検討会」を茨城県つくば市の建設技術研究所 研究センターつくばで開催しました。（学識者・東北地方整備局・宮城県・コンサルタント　全28名出席）

■ 今回の検討会では、遊砂地の水理模型実験の経過報告及び実験を踏まえた改良方針について意見交換を行いました。

＜ 検討会委員（8名）＞（記載は順不同）

・**井良沢 道也**（岩手大学教授）　・**内田 太郎**（筑波大学准教授）　・**小森 大輔**（東北大学准教授）　・**山越 隆雄**（国総研土砂災害研究部砂防研究室長）
・**菅野 洋一**（宮城県土木部技監）　・**大宮 敦**（宮城県大河原土木事務所長）　・**高橋 秀**（東北地整河川部広域水管理官）　・**水越 崇**（東北地整宮城南部復興事務所長）

現地視察（水理模型実験状況）

内川、新川、五福谷川の遊砂地模型を用いて、100年に1度の雨量確率規模相当での洪水と土砂を流し、施設効果の検証を実施しました。






検討会場の様子（効果検証・意見交換）

水理模型実験を踏まえ、問題点の確認と施設の改良方針について、技術的助言を伺いました。



＜次回開催予定（第3回）＞

・**開催時期：　令和4年3月中旬**
・**開 催 地 ：　丸森町内（遊砂地現地確認含む）**
・**テ ー マ ：　水理模型実験を踏まえた遊砂地構造の決定　及び砂防施設配置計画 等について**